

研究課題：小腸閉鎖の画像所見とその鑑別についての後ろ向き研究

1. 研究の目的：小腸閉鎖の画像所見を明らかにする
2. 研究の概要：小腸閉鎖は、新生児期に外科手術を要する疾患です。現在、胎児診断が行われる症例が多いですが、それでも、妊娠中には異常を指摘されず出生後に来院する患者様もいます。診断のために超音波検査や単純レントゲンが施行されますが、出生後の画像所見についてのまとめは少ないです。病変の詳しい画像所見の解釈は他の疾患との鑑別に有用であり、閉塞部位や閉鎖の原因は手術のプランニングに重要です。小腸閉鎖の画像所見を明らかにすることによって、原因と診断が確実となり、また、より安全に治療方法が施行可能となると考えられます。
3. 研究の方法
研究期間は 2000 年 9 月から 2019 年 11 月までの小腸閉鎖が疑われた患者様で診断、経過観察のために超音波検査、単純レントゲン、造影検査、CT、MRI を行われた症例を、検査時期、治療法、画像所見、鑑別診断などを後方視的に調べます。
4. 研究期間
2020 年 1 月から 2020 年 6 月までの 6 ヶ月間で、カルテを調べ、結果をまとめます。
5. 研究に用いる資料・情報の種類
小腸閉鎖を疑われた患者の診断時とその後の経過を、画像検査結果、カルテの記載から、病気に関する事柄（検査所見、治療方法）を調べまとめます。
6. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表
この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切わからないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この試験で得られたデータが本試験の目的以外に使用されることはありません。
7. 研究組織
研究分担医師：細川 崇洋

研究施設名：埼玉県立小児医療センター 放射線科
連絡先：330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-2
電話：048-601-2200

8. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先
研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2020年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）